

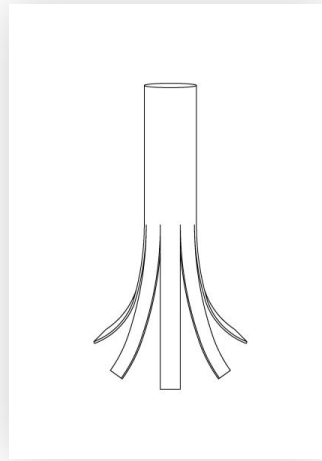


栗久

IFFT interiorlifestyle living  
東2 D-504  
(YOnoBI ブース)

**伝統工芸 × LED**

という新たな可能性……。  
「AKITANOHIKARI」を発表します。  
YOnoBIプロデュース、  
橋本夕紀夫デザイン。  
大館曲げわっぱ、川連漆器、  
樺細工、秋田杉桶樽の7社との  
コラボレーションです。



樽富かまた

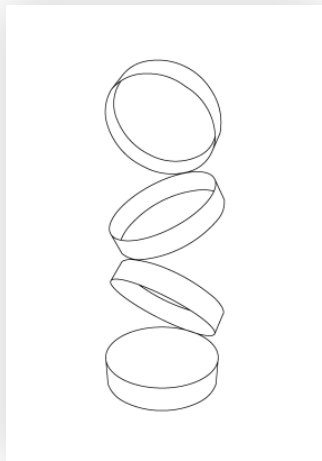


藤木伝四郎商店

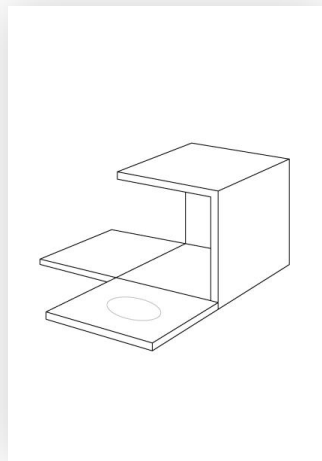
produced by **YOnoBI**

designed by Yukio Hashimoto

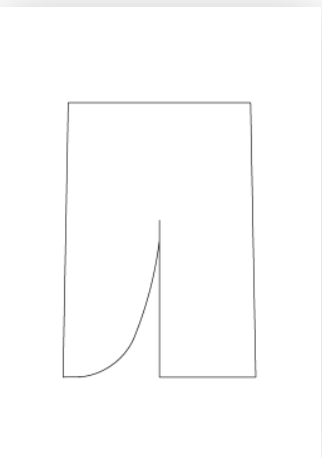
# AKITANOHIKARI



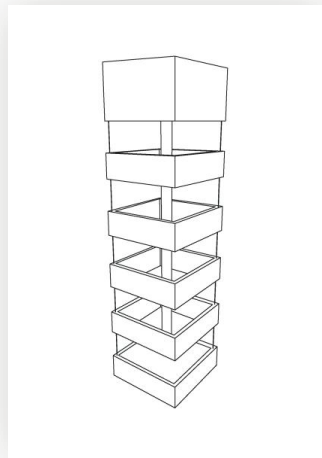
柴田慶信商店



丸仁工芸



利山



富岡商店

## 日本の工芸に新しいひかりを

日本の伝統技術には大変素晴らしいものが数多くあります。どれもが自然素材を巧みに生かしながら様々な工芸品を様々な工芸品をつくりだしてきました。

ただ、20世紀に入ってから工業化による量産品が巷にあふれ、いつの間にかそれらは伝統工芸というレッテルを貼られてどこか特別な存在になっていきました。

しかし21世紀になった今、状況は少し変わってきているような気がします。

進化し続けるハイテクノロジーのおかげで、今までとは違った日本の工芸の展開が期待できるようになってきました。

例えばLED光源の開発です。

従来の白熱灯等の燃焼型の光源とは違い、半導体が直接発光するので発熱量が極端に少なく、しかも非常にコンパクトです。

その特性によってLEDは照明器具にとどまらず、電気製品の表示や建築に取り付けられるサイン等、いろいろな場面で使われています。

そして、このLEDと日本の工芸を組み合わせることによって工芸に新たな展開をもたらすことができないだろうか、と試みたのが、今回の製品です。

大館の曲げわっぱ、川連の漆器、角館の樺細工、秋田杉の桶樽という日本を代表する秋田の工芸技術とLEDを組み合わせ、文字通り、日本の工芸に新しいひかりを与えることができると願っています。

橋本夕紀夫